

24年産米状況

千葉県産米の放射性物質検査結果 平成24年8月21日現在



新潟県では、以下の地域で早生品種(こしいぶき・越路早生・わじまん等)の出荷が可能になりました。=平成24年8月21日現在

柏崎市、刈場村

今週の玄米入荷情報

24年産＝

千葉 ふさおとめ

千葉 ふさこがね

千葉 あきたこまち

佐賀 コシヒカリ(白石)

23年産＝

岩手 ひとめぼれ 岩川

山形 はえぬき

福島 コシヒカリ 会津

福島 ひとめぼれ 会津

茨城 コシヒカリ

新潟 コシヒカリ 長岡

先週売上のベスト5

<玄米>

第1位 佐賀白石コシヒカリ(24年産)

第2位 秋田あきたこまち

第3位 福島ひとめぼれ

第4位 福島コシヒカリ会津

第5位 長野コシヒカリみゆき

2011年の総務省家計調査で、家庭でのコメ購入金額がパン購入金額に抜かれたと発表されましたが、この要因としては

- 1、長期的な米価下落の影響
- 2、自宅での炊飯機会の減少
- 3、外食ならびに弁当や総菜などの「中食」への出費増加

が考えられています。

コメの購入金額は、統計上比較可能な1985年には約7万5千円であったものが、2011年には1/3近くにまで減少しました。一方でパンは2011年には微増でコメを抜いたという結果が報告されています。

単純にコメの消費量が1/3になったとは言えず、ごはんとしての支出は増加しているという結果となっています。

すでに随分以前にコメの購入金額はお菓子の購入金額に抜かれており、その当時は「日本人の主食はお菓子」とコメントされたそうです。

「そもそもコメは素材でパンは加工品だから」とか「パンとごはん、コメと小麦を比較すべき」とか色々意見はありますが、「一番憂うべきは家庭内での調理機会が減少しているという事だ」という意見に集約できているような気がします。